

「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

1 部 門 「間伐による森づくり」部門

2 賞 林野庁長官賞

3 受賞者 最上広域森林組合(山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川270-1)
電話: 0233-62-2102 FAX: 0233-62-2953
H P アドレス: <http://shinjo.dewa.or.jp/morikumi/>

4 概 要 効率的な利用間伐を推進するため、森林所有者との合意形成のもと、小規模分散的な団地化を図り間伐を推進している。間伐の方法は、優勢木と劣性木を強度に間伐し、平均径級を多く残す「最上型間伐（伐採率30%）」を実施している。

簡易作業路や山元土場等を整備し、経営基盤の強化を図りながら、高齢級林分の列状間伐と葉付き乾燥材を生産している。中間収入が期待できることから、一層の間伐推進と葉付き乾燥材の生産、長伐期施業を展開する所有者が増加している。

〔葉付き乾燥材の生産 H10年度: 0m³ → H12年度: 110m³
長伐期施業の実施 H10年度: 40ha → H12年度: 55ha〕

また、組合独自にインターネットホームページを開設し、間伐材利用によるクリーンステーション等の販売を実施している。



1回目の間伐が終わり、陽光が差しこみ
下草の繁る林分



整備された作業道